

令和3年度  
食料の安定供給に係る  
リスク分析・評価の実施方針（案）について

令和3年10月19日

農林水産省

# リスク分析・評価の実施状況と今年度の実施方針（案）について

## 実施目的

不測の事態に備え、  
（１）食料の安定供給に影響を与える可能性のあるリスクを洗い出し、  
（２）リスクの発生頻度、影響度を定期的に監視し、  
（３）政策対応を含めたリスクを回避する・低減するための点検を実施する  
ことを目的として、食料供給に係るリスク分析・評価を定期的に実施。

## 対象品目

米、小麦、大豆、飼料用とうもろこし、畜産物及び水産物の６品目（以下「主要６品目」）  
（①輸入依存度の高さ、②食料供給に占める熱量の割合の高さ、③国内生産による完全代替の困難さを踏まえ選定）

## 実施状況

- ① 平成26年度～29年度は、主要６品目について、緊急事態食料安全保障指針で想定されている  
・海外におけるリスク（17リスク※）  
・国内におけるリスク（５リスク※）  
の観点毎に実施。  
（※令和3年1月指針改正時に以下の２リスクを追加  
１．感染症の流行 ２．輸出国・輸入国間などの貿易上の障害の発生）
- ② 平成30年度以降は、年度毎に設定した重点課題について実施。  
・平成30年度：国内における自然災害のリスク分析  
・令和元年度：諸外国と比較した日本の食料安全保障政策の点検  
・令和２年度：自然災害や異常気象、家畜の伝染性疾病、新型コロナのような新たな感染症

## 今年度の 実施方針 （案）

平成26年度～29年度と同様に、主要６品目について、緊急事態食料安全保障指針で想定されている  
国内外の全リスクを対象に実施する。

（来年度以降は、２－３年ごとに、主要６品目について、指針に想定されている国内外の全リスクを対象に包括的なリスク分析・評価を行った上で、それを実施しない年は、深掘りすべきリスク・品目を選定したリスク分析・評価を実施することとしたい。）

# 緊急事態食料安全保障指針で想定されている、我が国の食料供給に影響を及ぼす緊急の要因（リスク）

## 海外におけるリスク（19リスク）

### 一時的・短期的に発生するリスク※1

#### 生産面

- 大規模自然災害や異常気象
- 家畜・水産動物の伝染性疾病や植物病害虫
- 感染症の流行
- 食品の安全に関する事件・事故

#### 流通面

- 港湾等での輸送障害
- 輸出国等における紛争・政情不安・テロ
- 輸出国における輸出規制
- 輸出国-輸入国間等の貿易上の障害の発生
- 為替変動
- 石油等の燃料の供給不足
- 感染症の流行

### 既に顕在化しつつあるリスク※2

#### 生産面

- 地球温暖化等の気候変動
- 肥料（養殖用飼料）需給のひっ迫
- 遺伝資源の入手困難
- 水需給のひっ迫
- 単収の伸び率の鈍化
- 水産資源の変動

#### 需要面

- 人口増加に伴う食料需要増加
- バイオ燃料向け需要の増加
- 新興国との輸入の競合

## 国内におけるリスク（6リスク）

### 一時的・短期的に発生するリスク

#### 生産面

- 大規模自然災害や異常気象
- 家畜・水産動物の伝染性疾病や植物病害虫
- 感染症の流行
- 食品の安全に関する事件・事故

#### 流通面

- 食品等のサプライチェーンの寸断
- 感染症の流行

### 既に顕在化しつつあるリスク

#### 生産面

- 地球温暖化等の気候変動

※1：一時的・短期的に発生・終息し、発生頻度で評価

※2：長期的に変化する蓋然性が高く、進行状況で評価

※3：下線部分は、「緊急事態食料安全保障指針」（令和3年1月改正）にて新たに追加されたリスク